

中間的な論点の整理【概要】

(保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会)

2018 (平成30) 年 9月26日

1. 今後の検討に当たっての「基本的な視点」

- 保育の質の検討に当たっては、「**子ども**」を中心に考えることが**最も基本**。それを前提として、様々な保育の現場において、職員全員の参画の下、子どもの思いや願いを受け止め、子ども一人一人の発達過程に応じて、**保育所保育指針に基づく保育実践**(※)の**充実に向けた取組が日常的に行われることが重要**。(※環境を通じた保育、養護と教育の一体性、健康・安全の確保等)
- また、保育の質の確保・向上には、**保育をめぐる多様な関係者の参画や連携・協働、保育に関する理解の共有も必要**。

2. 現時点で考えられる「検討の方向性」(具体的な検討事項)

(1) 総論的事項

- 保育現場・地域・国といった様々な主体による取組が連動し、全体として機能するための**保育の質に関する基本的な考え方や、具体的な捉え方・示し方等**
(※我が国の文化・社会的背景の下での保育所保育の特性を踏まえた「『質の高い保育』とは、どのようなものか」といった、保育の各現場の創意工夫ある保育実践に際し念頭に置く方向性)

(2) 個別的事項

① 保育の現場における保育実践

(職員間の対話を通じた理念共有)

- 各保育所等における**保育の理念の明確化・園全体での共有**
- 子どもや保育に関する**職員間の対話**が促される環境の構築

(保育の振り返りを通じた質の向上)

- 改定指針を踏まえた「**保育所における自己評価ガイドライン**」の見直し・評価結果の公表や活用等

(保育の環境や業務運営改善)

- 安全快適性と保育充実に資する**環境(人・物・空間・時間)工夫**
- 質向上や保育士等の**業務負担軽減**に資する業務運営

(保育士等の資質・専門性向上)

- **各種研修の質的充実**
- 多様な経歴の初任保育士支援
- 園長等のマネジメント能力向上

② 保護者や地域住民等との関係

(保育実践の内容の「見える化」)

- **保護者や地域住民等のニーズ**を踏まえた**保育実践の「見える化」**
・ 保育の評価や取組の情報公表
・ 日常保育に係る交流機会等

(保護者や地域住民等の関与)

- 保育所等における保育実践や質向上の取組への関与促進
・ **関係者との交流機会の充実**等

③ 自治体や地域機関との関係

(保育所と自治体等との連携協働)

- 自治体や関係機関との連携方策
・ **保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、養成施設等との連携**
・ 地域のネットワークづくり等

(自治体の役割充実や連携促進)

- **保育実践に係る相談・助言**
- 指導監査の効果的・効率的実施
- 自治体間の効果的・効率的連携

3. 今後の検討の進め方

- 今般整理した具体的な検討事項について、その内容を踏まえ、**適宜、実態調査や調査研究**を行いつつ、検討会の下に**作業チームを設置し、実務的な検討や作業**を行う。
- その上で、**検討会において、作業チームにおける検討状況等を踏まえ**、保育の質に関連する様々な動向や取組の実施状況等に留意しつつ、**引き続き多角的な観点から、更に議論**を深める。